



帰ってきてね!

与那原・西原町漁業協同組合西原支部(安里昌男支部長)主催による「タマン稚魚放流事業」が6月28日に西原船だまりで開催されました。地域の子ども会などから80名余りの参加がありました。放流されたタマンは元気よく沖へと向かいました。和田八龍くん(西原南小1年)は「大きくなって帰ってきてね」と大海原へ向かうタマンの成長を願っていました。



放流のようす

長年の貢献に表彰

沖縄県スポーツ推進委員協議会の創立50周年記念式典祝賀会が、5月30日にラグナガーデンホテルで開催されました。式典では、38年間スポーツ推進委員として中頭地区のスポーツ事業に貢献した、本町スポーツ推進委員の新川千代子さんが功労者表彰を受けました。



新川千代子さん(写真中央)

中学生が熱弁

第3回西原町青少年の主張大会が6月26日にさわふじ未来ホールで行われました。同大会は青少年に社会の一員としての自覚を促し、青少年の健全育成に対する町民への理解を求め、西原中学校と西原東中学校から計6名が参加し、さまざまなテーマで主張を行いました。厳正なる審査の結果、後梅を力に」とのテーマで発表した喜納碧さん(西原中3年)が最優秀賞を受賞しました。喜納さんは9月2日に開催される中頭地区少年の主張大会へ町代表として派遣されます。



主張したみなさん

行ってきま〜す

西原町中学生海外短期留学派遣事業補助金交付式が7月6日に西原町役場で行われました。交付式では西原町教育委員会(小橋川明教育長)、NPO法人西原町人づくり支援の会(新川武雄理事長)から補助金が交付されました。補助金交付にあたり、新川理事長は「私たちは町内の才能と意欲のある若者を支援することを目的にしています。補助金交付対象の8名に選ばれたことは名誉なことです。健康、安全に気を付け、将来の進路に役立ててください」と呼びかけました。



短期留学生のみなさん

古武道で大活躍

第14回全日本琉球古武道オープン選手権が、6月7日にBumBスポーツ文化館で行われました。坂田ハイツにある興儀会館の興儀清允さん(坂田ハイツ出身)が一般男子段の棒と釵の部で、下地範男さん(坂田ハイツ在住)が一般男子級の棒と釵の部でそれぞれ2冠を、上原結希くん(宜野湾在住)が少年1部の釵の部で3位に入る快挙を達成しました。下地さんは「はじめは固かったが、途中からは開き直って練習どおりにでき、その日の自分のベストが出せました。」と大会を振り返りました。



下地範男さん(左から2人目)、上原結希くん(右から2人目)

14年ぶりV 西原小クラブ全国へ

6月に開催されたファミリーマートカップ第35回全日本バレーボール小学生大会沖縄県大会で、西原小学校女子バレーボールクラブが14年ぶり3度目の優勝を果たしました。上間明町長は「優勝は厳しい練習と監督やコーチ、父母の後押しのおかげだと思えます」と優勝を称えました。選手を代表してキャプテンの興儀柚依佳さん(6年)は「目標としていた大会で優勝できて嬉しい。監督やコーチ、父母に感謝を忘れず全国大会へ向け、今後も厳しい練習をがんばっていきたい」と大会の感想と全国大会(8月11日開催)への抱負を述べました。



優勝に笑顔のみなさん

男性だけで読み聞かせ

西原南小学校で読み聞かせ活動を行っているボランティアサークル「パステル」(津波古和代表)が、男性だけで読み聞かせをする「メンズデー」を6月16日に行いました。この企画は昨年にも続きもので、児童のお父さんやおじいさん、卒業生や地域の方など14名の方が参加しました。3年2組で読み聞かせを聞いた娘の野田莉代さんは、お父さんの読み聞かせについて「はずかしかったけど、また聞きたい」と照れながらも、嬉しそうに話していました。



読み聞かせのようす

月夜のもとで、読み聞かせ

読みあいネットワーク喜楽星7主催の読み聞かせイベント「第14回喜楽星の語り庭(な〜)あつとーめー」(お月さま)のささやき」が、7月4日に西原町立図書館の前庭に特設ステージを組んで開催されました。喜楽星7は町内にある4小学校、2中学校、喜楽星語り塾の7つの読み聞かせサークルのネットワークです。メンバーの熟練した読み聞かせに、来場者は絵本の世界に引き込まれていました。また、歌に合わせた手遊びやハーモニカによるミニコンサートなども披露されました。



大型紙芝居を使った読み聞かせのようす